

参考資料 3

平成27年度当初予算について

施策の成果・課題等

健康づくり対策

生活習慣は改善されているものの、依然全国平均には満たない状況である。今後も「健やか力」の普及啓発が必要

＜生活習慣の状況＞

項目		H22	H24(直近)	全国順位	
喫煙率(成人)	男	青森県	36.1%	40.1%	1位
		全国	32.2%	33.7%	—
	女	青森県	7.9%	14.2%	2位
	全国	8.4%	10.7%	—	
食塩摂取量(成人)	男	青森県	11.4g	11.7%	15位
		全国	11.4g	11.3g	—
	女	青森県	9.8g	9.8g	17位
	全国	9.8g	9.6g	—	
野菜摂取量(20歳以上)	男	青森県	265.9g	296.2g	23位
		全国	289.1g	297.0g	—
	女	青森県	265.5g	292.3g	14位
	全国	275.3g	280.2g	—	
1日の歩数(20～64歳)	男	青森県	6,884歩	7,001歩	37位
		全国	7,136歩	7,791歩	—
	女	青森県	6,303歩	6,283歩	42位
	全国	6,117歩	6,894歩	—	
肥満者の割合(男性20～60代、女性40～60代)	男	青森県	37.4%	—	—
		全国	31.2%	—	—
	女	青森県	22.0%	—	—
	全国	22.2%	—	—	

青森県はH22は青森県県民健康・栄養調査、H24は国民健康・栄養調査より引用。ただし、喫煙はH25国民生活基礎調査より引用。全国は国民健康・栄養調査より引用。
※全国順位は数値の高い順

がん対策

がん検診受診率は上昇傾向にあり、概ね全国平均を上回っているものの、国の目標とする50%には届いておらず、一層の推進が必要

＜がん検診受診率の推移＞

	H19	H22	H25
胃がん	31.7 (30.2)	35.4 (32.3)	40.0 (39.6)
肺がん	29.5 (26.7)	30.1 (24.7)	44.7 (42.3)
大腸がん	27.2 (25.8)	30.1 (26.0)	38.8 (37.9)
乳がん	—	39.3 (39.1)	41.3 (43.4)
子宮がん	—	38.9 (37.7)	43.6 (42.1)

国民生活基礎調査：青森県の値(全国の値)
* 対象40～69歳(乳がんのみ20～69歳)

今後の具体的目標

◆ 生活習慣の改善

※青森県健康増進計画「健康あおもり21(第2次)」

項目	現状値	目標値(平成34年度)
成人の喫煙率の減少	男性40.1% 女性14.2% (平成25年国民生活基礎調査)	男性23%以下 女性5%以下
食塩摂取量の低下(成人)	10.5g (平成22年度青森県県民健康栄養調査)	8g
野菜と果物の摂取量の増加	・野菜摂取量の平均値(20歳以上)265g ・野菜摂取量の平均値(7～14歳以上)253g ・果物摂取量100g未満の者の割合 56.5% (平成22年度青森県県民健康栄養調査)	・野菜摂取量の平均値(20歳以上)350g ・野菜摂取量の平均値(7～14歳以上)250g ・果物摂取量100g未満の者の割合 28%
日常生活における歩数の増加	20～64歳 男性 6,884歩 女性 6,303歩 65歳以上 男性 4,664歩 女性 3,557歩 (平成22年度青森県県民健康栄養調査)	20～64歳 男性 8,500歩 女性 8,000歩 65歳以上 男性 6,000歩 女性 5,000歩
適正体重を維持している者の増加	20～60歳代の男性の肥満者の割合 37.4% 40～60歳代の女性の肥満者の割合 22.0% 20歳代の女性のやせの者の割合 16.0% (平成22年度青森県県民健康栄養調査)	20～60歳代の男性の肥満者の割合 34% 40～60歳代の女性の肥満者の割合 19% 20歳代の女性のやせの者の割合 16%

◆ がん検診受診率

※第二期青森県がん対策推進計画

	H25	H28
胃がん	40.0%	50%以上
肺がん	44.7%	50%以上
大腸がん	38.8%	50%以上
乳がん	41.3%	50%以上
子宮がん	43.6%	50%以上

* 国民生活基礎調査

今後の目標を踏まえた施策展開

◆ 健やか力総合推進事業[新規](24,340千円)
【健康長寿県プロジェクト】

職域における健康づくりの取組の強化
・データ収集と分析 ・人材育成と活用
・生活習慣(喫煙、食、運動)の改善

◆ さあ始めよう! あおもり「健活」推進事業[継続]
【健康長寿県プロジェクト】 (36,050千円)

ヘルスリテラシー(健やか力)を身につけ、さらに向上していきことができるよう「健活」を推進

※このほか、国民健康保険県調整交付金算定の評価項目に、受動喫煙防止対策、食生活、運動等の項目を入れて、市町村の取組を強化(27～)

◆ 働く世代の健(検)診受診率向上対策事業[継続]
【健康長寿県プロジェクト】 (16,596千円)

《再掲 さあ始めよう! あおもり「健活」推進事業の一部》

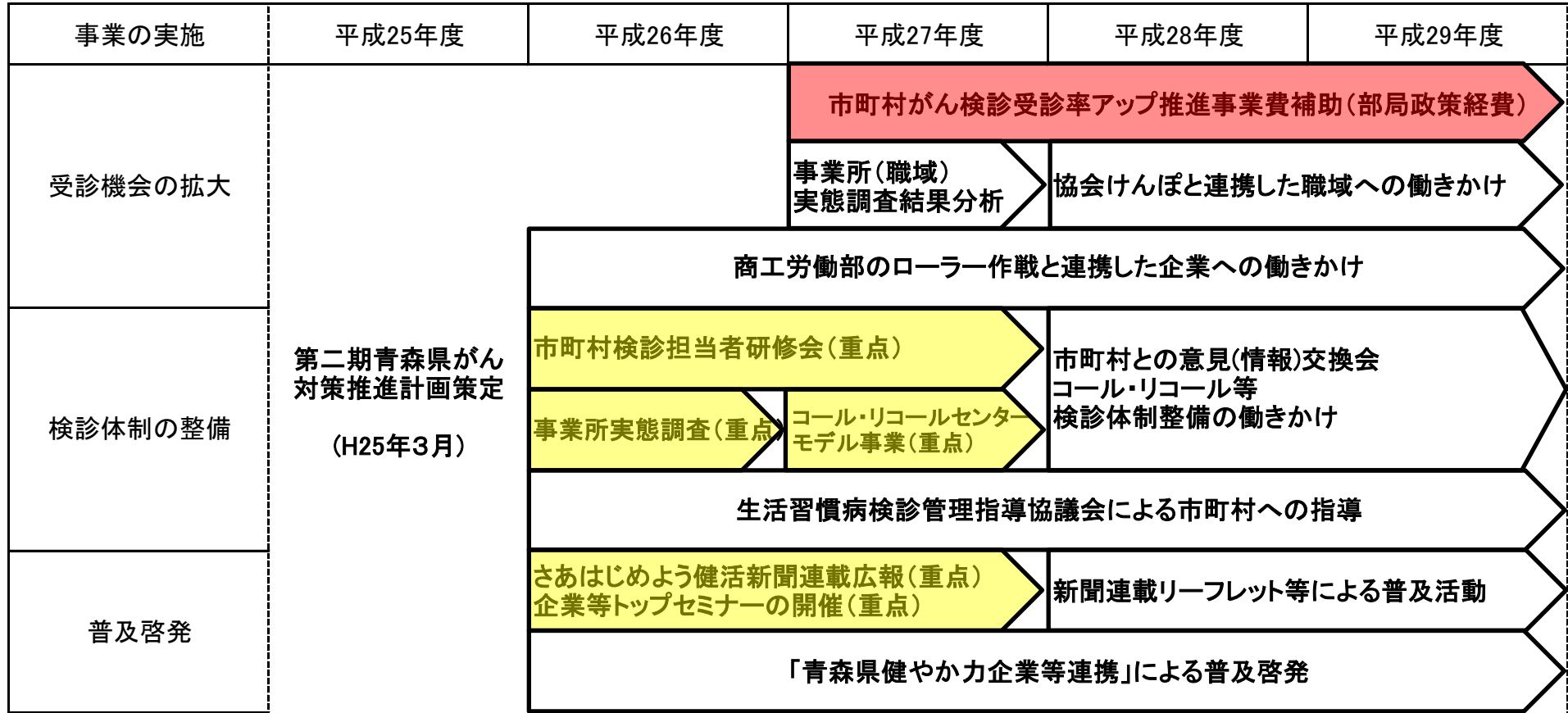
がん検診受診率向上に向けた住民への普及啓発、市町村担当者研修、モデル事業の実施など実効性ある施策を推進

◆ 市町村がん検診受診率アップ推進事業費補助[新規]
(35,000千円)

市町村のがん検診受診者数の増分に対し、経費の一部を補助することにより、市町村のがん検診受診率向上を誘導

※このほか、国民健康保険県調整交付金算定の評価項目に、がん検診受診率を取り入れることにより、がん検診受診率の向上を誘導(27～)

本県のがん検診受診率向上対策



「第二期青森県がん対策推進計画」期間

がん検診受診率 目標値50%以上(国民生活基礎調査)

市町村がん検診受診率アップ推進事業費補助 (3, 500 千円)

【 現状と課題 】

<現状>

青森県では、がんが昭和 57 年以降、死因の第1位で、年間約4千人から5千人がんで亡くなっている。働き盛り世代からがん死亡率が全国を上回る状態にあり、本県の平均寿命に大きな影響を与えている。

<課題>

がんによる死亡率が高い本県においては、早期発見・早期治療によるがんの二次予防の徹底が重要であるが、市町村ごとにがん検診の精度管理の質にばらつきがある。

- 各市町村では、がん検診受診率向上に向け、様々な取組を実施しているが、十分な効果が上がっていない。
- 「精度管理・事業評価のための市町村チェックリスト」の項目を8割以上実施している市町村の割合…H24 年度で3割程度

【 事業内容 】

<事業目的>

市町村が実施するがん検診受診者の拡大を支援することにより、がんの早期発見・早期治療に資する。

<事業概要>

基準年度よりがん検診受診者が増加した市町村に対し、増加した経費の1/2を補助する。
対象・胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がん
ただし、国のクーポン事業利用者は対象外

【期待される効果】

<目標値(H29 年度)>

【第二期青森県がん対策推進計画】

- がんによる死亡の減少(20%)
75 歳未満年齢調整死亡率・人口 10 万対97.7人→82.6人
- がん検診受診率等の向上とがん検診の精度管理及び質の確保
 - ◇がん検診受診率 50%以上
 - ◇精密検査受診率 90%以上
 - ◇精度管理・事業評価実施市町村割合 100%
 - ◇科学的根拠に基づくがん検診実施市町村割合 100%

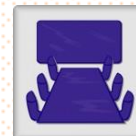
市町村の取組

- ・がん検診事業評価チェックリスト 100%遵守→がん検診精度向上
- ・がん検診台帳管理
→対象者の把握
未受診者、精検未受診者の把握
受診勧奨



県の取組

- ・生活習慣病検診管理指導協議会で精度管理向上の検討(市町村のがん検診事業評価チェックリストの確認等)
→市町村に対する助言・指導
- ・がん検診受診者数が増加している市町村への補助(1/2)





がん情報コンテンツ強化事業(8,026千円)

H27戦略キーワード
~いのちを守る仕組みづくり
と健やかな暮らしづくり~

【現状と課題】

<経緯>

- 平均寿命やがんの死亡率が全国ワーストとなっている本県においては、平均寿命の延伸やがんの死亡率の減少が大きな課題。
- 県民一人ひとりが、がんについての正しい理解を深めていくことが重要。

このため、平成22・23年度の重点事業で青森県がん情報提供システムを構築(目的)

インターネットを通じてがんについての正しい知識を広く県民に情報発信することにより、県民自らががんと戦える体制を構築する。

- ①システムの構築及び運営保守業者は提案競技により選定
- ②契約期間:平成22年度~平成26年度までの5年間
- ③平成23年3月から一般公開

<課題>

- ここ最近、行政のみならず、マスコミや関係団体を含め県全体で、**健やか力向上の機運が高まっている。**特に、「がん」は死因の第1位であり、**県が提供する情報に対し、これまで以上に期待が寄せられている。**
- こうした期待の下、ホームページはアクセス数をどんどん伸ばしているものの、提供している情報は4年前に作りこんだコンテンツによるものであり、**提供内容も古くなってきている。**
- 関係者の意見や利用者アンケートの結果からも、トップページや画面構成の変更による**わかりやすさや、主要病院の治療実績等の紹介があればよいなどの、充実強化を望む声がある。**
- 月間アクセス数の多い上位10記事のうち、基本的に半分以上が**動画・音声関連の記事**であり、これらを**最新情報に変えていく**とともに記事数の増加による**情報の充実が必要**である。
- 利用者の多様なニーズに応えていくためには、例えば**各種統計データの充実を図るなど、提供する情報の充実が必要**である。

より効果的な情報提供のためには・・・

- ・利用者のニーズを踏まえ、**コンテンツの充実(強化)が必要。**
- ・提供情報の内容を、**より充実させることが必要。**

(補足)

2013年12月に行った国立がん研究センターの調査では、がん罹患時にインターネットから情報を集めたいと考える人が、医師や看護師からの情報収集を抜き、最多との結果となった。インターネットでの情報発信は重要性を増している。

【事業内容】

1 コンテンツの充実・強化(H27年度)(7,164千円)

システムのコンテンツの充実・強化(H27年度後半)

- ・現在のコンテンツの強化
 - ①がん医療機能情報、②がん相談事例集、
 - ③がん患者の体験、④がんを学ぶ、⑤がん患者団体情報、
 - ⑥青森県の取組と各種統計、⑦関係機関リンク
- ・簡単に得たい情報にアクセスできるストレスを感じさせない構成への変更

部会による検討(H27年度前半)

- (検討内容)
 - ・コンテンツの充実強化内容
 - ・提供する情報、見やすく、分かりやすいデザインの検討 など

2 ソフト面の充実(H27~28年度)(H27:862千円)

動画・音声ファイルの充実・強化

がんに関する基礎知識や診断・治療情報を医師が解説する動画や、がん患者の体験談に関する音声を新たに収録し、最新の情報に充実強化。

<H27年度-医師解説動画 H28年度-患者体験談音声>

その他提供情報の充実

がん患者、患者家族、県民のニーズを的確に把握し、必要とされるデータへの充実強化。

<スケジュール>

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
		(重点事業の期間)	
コンテンツの充実(強化)内容検討	内部検討	部会による検討	
コンテンツの充実(強化)作業		作業期間	新コンテンツでの公開
動画・音声ファイルの更新		収録等を行い、更新	

【事業成果】

新たな「がん情報サービス」のイメージ

- 見やすく、分かりやすい画面のデザイン
- 簡単に得たい情報にアクセスできる、ストレスを感じない優れたユーザビリティ
- 動画による医師の解説(最新情報に更新)
- 人気の高い音声によるがん患者体験談(件数を増加)
- 患者や家族が知りたい情報が満載
 - ・病院を選択するうえで重要な病院の治療実績
 - ・セカンドオピニオンなど、治療方法の選択に関わる情報
 - ・緩和ケアの提供や相談支援の情報(不安や苦痛の解消)
- がん予防・がんの早期発見に必要な情報の充実

【目標】アクセス数
年間20万件

県民にとってなくてはならない情報源に!

県民に、がんに関する正しい情報を、より見やすく、分かりやすく発信することで、知識の普及と意識の啓発が図られる。

がんにならないための生活習慣の改善、がん検診の積極的な受診による早期発見率の向上、がんになった場合の早期治療率の向上が図られる。

平均寿命の延伸やがんの死亡率の減少に資することが期待される。

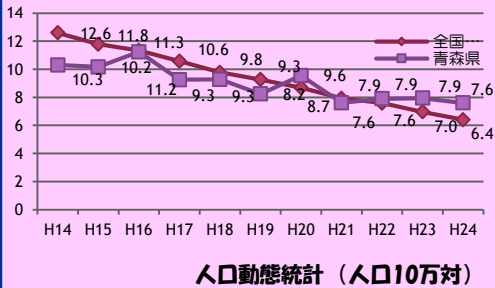


職域肝炎ウイルス検査費助成（1,224千円）

【現状・課題】

《現状》

肝がん75歳未満年齢調整死亡率



協会けんぽ実施の肝炎ウイルス検査実績

	H21	H22	H23	H24	H25
受診者	707	918	881	707	777
陽性者	6	4	3	1	4

【事業の概要】

協会けんぽ加入者で過去にC型肝炎ウイルス検査を受けたことがない者（35～74歳）

①一般健診と併せて肝炎ウイルス検査の受診を希望

②協会けんぽが実施する肝炎ウイルス検査の受診

③助成申請

④自己負担分を助成

県

【評価指標、目標】

協会けんぽが実施する肝炎ウイルス検査の受診者数の増加



早期発見に結びつけ、肝硬変・肝がんなど肝炎の重症化の予防に寄与する。



今を変えれば！未来は変わる!!



さあ始めよう！あおもり「健活」推進事業（36,050千円）

H27戦略プロジェクト ～健康長寿県プロジェクト～

【現状・課題】

《現状》

- 1.がん、心疾患、脳血管疾患の死亡率が40～50歳代から全国との差が顕著になっている。
- 2.特定健診の受診率は全国平均よりも低く、がん検診の受診率も伸び悩んでいる。
3. 糖尿病の年齢調整死亡率が全国に比べ高い、特に男性は下位クラス。

《課題》

- 1.生活習慣の改善のため、若い年代から県民が「健やか力」を身に付け、向上させることが必要。
- 2.「健活」を推進するには、市町村や地域・職域の関係機関との連携が必要不可欠。
- 3.健（検）診の受診環境の整備を促進し、受診率の向上を図ることが必要。
4. 様々な合併症を併発する糖尿病患者の重症化を予防するため、継続した取組が必要。

【事業内容】

1 「健やか力」向上推進事業（12,317千円）

- ①「健やか力」パワーアップ事業
 - ・「健やか力」を普及啓発するための健康教育サポーターの育成強化
専門職、地区組織（保健協力員会、食生活改善推進員会）に加え、新たに職域を対象に追加する。
 - ・「健やか力」の普及啓発（県民向け）
- ②あおもり「健やか力」検定事業
県民が自身の健康に関心を持ち、意欲的に健康について学び実践してもらうため、「健やか力」検定を実施（小5、中2、一般）

2 市町村等「健活」推進支援事業（3,261千円）

- ① 市町村等「健活」推進トップセミナーの開催
- ② 市町村等「健活」推進のための地域診断

3 健診及びがん健診受診率向上・糖尿病推進事業（20,472千円）

- ①働く世代の健（検）診受診率向上対策事業
 - ・「健活」広報
 - ・市町村健（検）診担当者研修会
 - ・がん検診コール・リコールセンターモデル事業
 - ・市町村肝炎重症化予防対策事業
- ②糖尿病対策推進事業
 - ・糖尿病患者の地域における病診・診診連携システム
 - ・療養指導体制の強化充実
 - ・糖尿病の「要精検」該当者に対する糖尿病専門医療機関への受診勧奨（ファーストコンタクト）の推進

【事業成果】



- 1 「健やか力」の向上
- 2 人財の育成
- 3 健（検）診受診率の向上
- 4 糖尿病に係る療養体制の全県的な普及

**早世の減少と
健康寿命の延伸**

今を変えれば！未来は変わる！！



健やか力総合推進事業 (24,340千円)

H27戦略プロジェクト ～健康長寿県プロジェクト～

【現状・課題】

データ収集・分析

本県の健康課題解決に向けた施策立案のために、健康に関する各種データ収集・分析は不可欠。
課題：県全体の分析ができていない。

人財育成・活用

健康教育サポーター(706名)や保健協力員(5,909名)、食生活改善推進員等(2,755名)が地域で活動。
課題：人財の活動を活性化し、職域等でも活動できる新たな人財養成が必要。

生活習慣改善

本県の平均寿命は全国最下位(男性77.28歳、女性85.34歳)
○働き盛り世代の死亡率が高い(45-49歳は長野県の2.1倍)
○三大生活習慣病の死亡率が全体の66.0%を占めている。
○喫煙率が全国上位。(男性40.3%全国1位、女性17.8%全国2位)特に、20代の喫煙率は全国1位。(男性48.9%、女性22.0%)
課題：県民一人ひとりの「健やか力」を向上させ、「健活」を実践させることが必要。

【事業内容】

県民の健康づくりを効果的に推進する
基盤整備

1 健康づくり推進のための基盤整備事業 (6,617千円)

- ①健康づくりに関するデータ集積・分析事業 (890千円)
健康づくり活動に係る健診等データを集積・分析し、市町村や職域へ情報提供する。
- ②企業や団体等における人財養成事業 (5,727千円)
企業や団体等において健康づくりのリーダーを養成し、職域における「健やか力」の向上を図る。また、養成したリーダーの活動の実践報告を行い、スキルアップを図る。

県民の健康づくりの実践を押し進める
環境づくり

2 「健やか力」応援事業 (5,936千円)

- ①レッツ・スタート・ウォーキング・事業(4,928千円)
県内スポーツ店をウォーキング情報発信拠点とするとともに、平日夕刻に働き盛り世代を対象にウォーキング・ジョギングを実施する。
- ②地域・職域におけるヘルシーあおもり健活メニュー普及事業 (1,008千円)
平成25・26年度作成の若者向けメニュー集を活用した調理実習や学習会等を開催し、正しい食生活の普及・啓発を行う。

3 煙からマモル環境整備事業 (11,787千円)

- ①若者の禁煙サポート推進事業 (5,185千円)
保険者における健康保険適用外の若者への禁煙支援体制構築を図る。
- ②実態調査(事業所、未成年) (2,474千円)
- ③妊婦・子どもを煙から守るための環境整備事業 (1,986千円)
「あおもり子育て応援わくわく店事業」と連携し、受動喫煙対策を実施している店のマップを作成する。
- ④ウェルカムあおもり環境整備事業 (2,142千円)
宿泊施設の受動喫煙防止対策状況の把握と正しい知識の普及を行う。

【事業成果】

健やか力総合推進事業

健康データ 人財

- 1 県全体の健康づくりのための適切な施策立案
- 2 市町村・職域における健康づくり活動の促進

県民一人ひとりの「健活」実践による「健やか力」向上

早世の減少と健康寿命の延伸

今を変えれば！
未来は変わる!!

<p>(事業名) がん患者団体等活性化支援事業 (継続)</p>	<p>(事業費) 2,061千円 財源内訳 (繰入金 10/10)</p>
<p>1 事業目的 人口の高齢化に伴い、今後がん患者は増加していくことが予想され、がん患者や家族の立場に立ったきめ細やかながん対策の充実が求められている。 がん患者団体は、がん体験者同士が悩みや経験を語り合う場を提供するなどの自主的な活動により、がん患者の不安の軽減等に貢献するものとして、その活動の活性化が期待されている。 このため、県内がん患者団体間の情報交換の機会を提供し、がん診療連携拠点病院等とがん患者団体とが連携した取組を支援することにより、がん患者会活動の活性化と資質向上を図ることを目的とする。</p> <p>2 事業内容 (1) がん患者団体等活性化支援フォーラムの開催 (1,314千円) がん患者団体の活性化を図るとともに、がん患者団体が担う役割等に対する理解を深めるため、地域がん診療連携拠点病院とがん患者団体等の参画によるフォーラムを開催する。 平成25年度は、「青森県がん患者支え合いフォーラム」と題して、弘前市、むつ市、八戸市で地域毎のフォーラムを開催し、来る3月9日には県内全域を対象としたフォーラムを青森市で開催することとしている。また、青森市でのフォーラムでは、県立保健大学大学院健康科学科の織井優貴子教授による講演(仮題「がん患者会の活性化をめざして」)を予定している。</p> <p>(2) がん患者団体等連絡会議の開催 (747千円) がん患者団体間の情報交換と相互連携を進めるため、患者団体の代表者とがん診療連携拠点病院のがん相談担当者による連絡会議を開催する。 会議の運営にあたっては、各がん患者団体が主体性をもって参画し、横の連携づくりや、患者・家族の視点に立った活動を活性化させるための共通課題の解決等に向けて、積極的に協議検討していけるよう支援していきたいと考えている。</p>	

平成27年度当初予算(案)
計上の主なもの

(単位:千円)

課名	事業名	事業費	説明
がん・生活習慣病対策課	がん対策 1 がん性疼痛評価手法普及事業費負担金	7,591	がん患者の痛みの軽減を図るため、がん性疼痛評価手法の普及に向けた協議会及び関係者に対する研修会の開催等に要する経費に対する負担金 負担金交付先 県立中央病院
	2 がんに負けない戦略的がん対策推進事業費	26,500	科学的根拠に基づく検証を踏まえたがん対策を展開できる体制を構築するため、弘前大学において地域レベルでのがんの疫学研究やがん施策に関する提案及びがん予防等に取り組む市町村等の人材育成を行う寄附講座を設置するのに要する経費
	3 がん診療連携拠点病院機能強化事業費 (電源三法交付金活用事業)	56,000	がん診療連携拠点病院に求められる相談支援、地域医療機関に対する研修及び院内の人材養成等の実施に対する支援等に要する経費 1 がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助 36,000 補助金交付先 八戸市立市民病院、十和田市立中央病院、三沢市立三沢病院、むつ総合病院 補助率 定額 2 がん診療連携拠点病院機能強化事業費負担金 20,000 負担金交付先 県立中央病院
	4 市町村がん検診受診率アップ推進事業費補助(新規)	35,000	がんの早期発見・早期治療を促進するため、がん検診受診率向上対策を行う市町村におけるがん検診の実施に要する経費に対する補助 補助金交付先 市町村 補助率 1/2
	5 がん情報コンテンツ強化事業費(新規)	8,026	利用ニーズに応じたがん情報を掲載するためのがん情報提供システムの充実・強化に要する経費 ○現在のコンテンツ がん医療機能情報検索、がん相談の事例集、がん患者の体験、がん患者団体情報、県の取組と各種統計、各種イベント情報等
	6 喫煙対策推進事業費	3,214	喫煙による健康影響を受けないための環境整備、効果的な禁煙治療を実践できる人材育成及びCOPDに関する普及啓発等に要する経費 ○事業概要 空気クリーン施設認証制度の推進、未成年者の喫煙防止対策検討会、禁煙治療医療機関従事者研修会、COPDに関する研修会
	7 全国がん登録推進事業費(新規)	9,141	全国がん登録が新たに法律で義務づけられることに伴う全国がん登録の実施体制の整備及び登録の実施に要する経費
	8 青森県小児がん等がん調査事業費	6,057	原子燃料サイクル事業と県民の健康との関連性を検討するための県内の医療機関を対象とした小児がん等に関する調査に要する経費

(単位:千円)

課 名	事 業 名	事業費	説 明
がん・生活習慣病対策課	9 肝炎特別対策事業費 (一部新規)	300,356	ウイルス性肝炎の治療の効果的な推進を図るための抗ウイルス治療に対する医療費助成、緊急肝炎検査の実施、肝炎検査陽性者の初回精密検査費用の助成、職域(協会けんぽ)が実施する肝炎検査受診者の検査費用の助成及びウイルス性肝炎に関する普及啓発のための県民公開講座の開催に要する経費
	健康づくり対策 10 さあ始めよう!あおもり「健活」推進事業費	36,050	県民一人ひとりが健康づくりに関する知識を高め、実践できる力であるヘルスリテラシー(「健やか力」)を身につけ、さらに向上していくことができるよう、人材育成、「健やか力」検定、トップセミナー等の「健活」を推進するために要する経費 1 「健やか力」向上推進事業 12,317 2 市町村等「健活」推進支援事業 3,261 3 健診及びがん検診受診率向上・糖尿病対策推進事業 20,472
	11 健康あおもり21推進事業費	2,566	早世の減少と健康寿命の延伸を目標とした県民健康づくり運動「健康あおもり21」(第2次)の推進に要する経費
	12 健やか力総合推進事業費 (新規)	24,340	健康づくりに関するデータの収集・分析や企業・団体における健康づくりリーダーの養成を行うとともに、働く世代を中心とした食生活、運動などの生活習慣の見直しや若い世代からの喫煙防止対策などを推進し、県民の健やか力の更なる向上と定着の推進に要する経費 1 健康づくり推進のための基盤整備事業費6,617 2 「健やか力」応援事業費 5,936 3 煙からマモル環境整備事業費 11,787
	13 健康増進保健事業費補助	68,019	健康増進法に基づき市町村が行う健康増進事業に要する経費に対する補助 補 助 率 2/3 (国1/3、県1/3、国10/10)
	14 健康啓発等事業費補助	1,494	生活習慣病が健康に及ぼす影響についての正しい知識の普及・啓発を図るための講座の開催に要する経費に対する補助 補助金交付先 青森県医師会、青森県歯科医師会、青森県薬剤師会、青森県栄養士会 補 助 率 1/2
	15 歯科口腔保健推進事業費	8,031	歯科口腔保健の推進体制を充実・強化するため、口腔保健支援センターの運営、歯周病予防キャンペーンの実施及び幼稚園・保育所等への訪問指導を行うのに要する経費
	16 中堅期保健師エンパワメント促進事業費	4,106	予防を重視した包括ケアシステムを推進するための中核である中堅期保健師に対し、地区活動における実践力を高めるための研修事業等を実施するのに要する経費